

GI山梨の新酒蔵開きイベントを 7蔵合同で開催

山梨県酒造協同組合（北原兵庫理事長）は、3月18日から20日までイトーヨーカドー甲府昭和店で「GI山梨・新酒蔵開き」を開催した。会場では一足早い花見気分を味わってもらえるよう、山梨県生花商業協同組合の協力により桜のモニュメントを設置。杜氏や若手後継者らが酒造りや飲み方、料理とのペアリングなどの「KURAトーク」も行った。

酒蔵では、秋に収穫した酒米を使って仕込んだ新酒が出そろう2月から3月にかけて「蔵開き」を開催してきたが、長期化するコロナ禍により3年連続で中止を余儀なくされてきたことから、新酒を待ち焦がれている消費者に向けたPRイベントとして、GI山梨の認定酒蔵7蔵が集結し初めて合同の蔵開きを開催した。

会場では、GI山梨認定酒をはじめ新

酒や今しか飲めない限定酒等を取り揃え、試飲や販売を行った。試飲では、21銘柄の日本酒が日替わりにならび非接触型の足踏み試飲機により提供した。また、山梨の「水」の違いを体感してもらおうと7蔵の仕込み水の飲み比べも設置した。

来場者からは、「墓参りを兼ねて東京から来た。山梨県はワインの印象が強いが多くの日本酒の酒蔵があり驚いた」「仕込み水の違いが味の違いとして個性になっていてとても美味しい」等の声が寄せられた。

北原理事長は「コロナ禍にあるが、GI山梨の認定酒蔵7蔵が一丸となって全国で唯一水系による酒造りを進めている山梨の日本酒も知ってもらい、味わってもらえる機会を増やしていきたい。」と語った。

山梨県酒造協同組合



7蔵の仕込み水の飲み比べ
多くの来場者で賑わいました



桜を飾ったKURAトーク

